

今月の題字



熊野第四小学校6年生  
井ノ下 由梨さん



四年平山まなみ

熊野第四小学校 4年 平山 愛

【評】三本の横画の長さ  
に気を付けて、形よく  
整えました。4年生  
に進級した勢いの感  
じられる「羊」です。



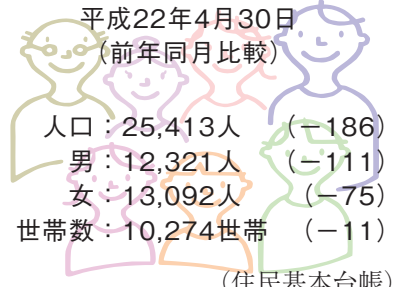
熊野第四小学校 2年 清水 風香

【評】ノースポールの  
花を画面いっぱい  
描きました。虫たちも  
飛んできて、とても  
楽しそうですね。すて  
きな春の風景です。

町の人口と世帯数

平成22年4月30日

(前年同月比較)



(住民基本台帳)

熊野の自然 (249)

ガヤドリナガミツブタケ

(バツカクキン科)



「冬虫夏草」は、冬には虫で夏には草(キノコ)になるという意味で、古代中国で付けられた名前です。ガヤドリナガミツブタケは、ガの成虫を宿主として寄生する冬虫夏草で、世界の表面から角状で長さ3〜7mmの小さなキノコが群生します。今までに8回見えますが、7回が熊野町内です。どれも、やや小型のガに寄生していました。これは成熟したキノコで、09年6月に初穂で写しました。キノコ上部の淡黄色の粒々は子のう殻と呼ばれ、中の子のうという袋状の細胞で胞子がつくれます。麦角菌科の冬虫夏草属の仲間には世界に300種以上あり、

半数は日本にも分布します。

ほとんどは昆虫やクモなどに寄生するため「虫生菌」と呼ばれます。町内では、スズメバチの成虫から発生したハチタケ、地中のセミの幼虫から発生したオオセミタケなどを見えています。寄生された昆虫は死んでしまうので、虫生菌は昆虫の天敵です。ミツバチなどの益虫を守るため、また逆に害虫の駆除のため虫生菌の研究が進められています。

本来の冬虫夏草は、中国南部の山岳地帯で蝶類の幼虫に生える種類です。不老長寿の薬として有名ですが、現在では抗がん性などの薬効も研究されています。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

広報「くまの」・熊野町ホームページ  
広告掲載募集!

広告掲載料金には、割引があります。  
(但し、1回の申込で3月分以上の申込が条件。)

月数	割引率
3月以上6月末満	5%
6月以上9月末満	10%
9月以上12月末満	20%
12月	30%

※詳しくは、総務課 TEL820-5601



ホームページをリニューアルしました。熊野町ホームページには毎月70,000件を超えるアクセスがあります。すっきりとさわやかなホームページに広告を載せてみませんか?

←熊野町ホームページ

